平成 26年 4月 3日

長岡市長 森 民夫 様

 7
 9
 4
 9
 4
 5
 2
 4

申請者 住 所 長岡市両高1462

団 体 名 村岡城址の歴史を守る会

代表 者 代表理事 小林 博

平成26年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成26年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。 事 村岡城址とホタル舞う保内郷の地域づくり事業 業 名 【目的】 保内郷地域の歴史資源·文化を和島地域内外にPRし、これらの歴史資源を後世に 伝え・残すため、保内郷地域内の若者にも開催するイベントにスタッフとして参加を呼 び掛け、地域内外に誇れる保内郷でイベントを開催し、また、資源保護作業を通し、歴 史・文化も学び、参加者との交流を深めつつ、一歩進んだ地域の活性化を図る。 【内容】 要 ・村岡城址を中心とした遊歩道の管理と整備、歴史・山野草散策コースの充実 ・村岡城址・里山歩きマップの作成 ・信昭公祭の開催(春の桜まつり) ・ホタル観賞ガイドの開催 ・三郎公祭の開催(秋のもみじまつり) ・山野草保護活動及び雪割草見学カイドの開催 円 下記 (F)の額を記入 0 補助申請額 補助対象経費(C) 支出の部合計(A) 補助対象外経費(B) 500,000円 500,000円 0円 特定財源(D) 事業を実施することによって得られる収入 0円 7 . 補助申請額 のうち、補助対象経費に充てるもの 算出の基礎 (C)-(D)=補助金算出対象額 補助金額(E) (補助率) 400,000円 500,000円 × 80% 補助金額(E)の千円未満切り捨てた額(F) ※金額の上限は50万円です 400,000円 平成26年 4月 7日 平成27年 事業期間(予定) 着 手 完了 3月3元 添 付 ○ 団体の概要説明書(第2号様式) 類 26, 4, ○ 事業計画書(第3号様式)

○ 事業の収支予算書(第4号様式)

第2号様式

平成26年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

1. 中間回体の概要のよび中間事業の計画等【公開の3条】										
ふ	IJ	9 :	が	な	むらおかじょうしのれきしをまもるかい					
団		体		名	村岡城址の歴史を守る会					
代:	表	者	氏	名	(肩書:代表理事) 小林 博					
設 :	立	年	月	日	昭和・平成 21年 12月 12日 構成員数 41 人					
設	立		目	的	歴史ある村岡城址を良好な形で維持管理するための支援や、村岡城 址の良さを広く周知していくための各種イベント等を企画検討していくことを目的とする。					
これまでの活動実績				ミ績	 ・村岡城址周辺の修繕、整備 ・里山遊歩道の整備、景観植樹 ・案内看板、説明看板の整備 ・雪割草等の保護活動 ・まちめぐりやふるさと物語ツアーでのガイドと郷土料理の提供 					
 過去の補助実績					年度 補助を受けた制度の名称 補助金額(円)					
(該当する場合のみ)					25 長岡市地域コミュニティ事業 500,000					
添付資料	事業計画			画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり					
	収支予算等			等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり					
	その他、団体をPR するパンフレット等				有・無 (どちらかに〇印)					

事業計画書

事業名	 村岡城址とホタル舞う保内郷の地域づくり事業 			
業実施の目的 目的 現状 課題 必要性	保内郷地域の歴史資源・文化を和島地域内外にPRし、これらの歴史資源を後世に伝え・残すため、保内郷地域内の若者にも開催するイベントにスタッフとして参加を呼び掛け、ふるさととして誇れる保内郷のイベントを開催する。また、資源保護作業を通し、歴史・文化も学び、参加者との交流を深めつつ、一歩進んだ地域の活性化を図る。			
事業内容	・村岡城址を中心とした遊歩道の整備と管理 ・歴史・山野草散策コースの充実及びボランティアガイド(イベント以外)の対応 ・しだれ桜と信昭公祭(春の桜まつり)と三郎公祭(方丈山もみじの祭典)の開催 ・ホタル鑑賞ガイドツアーの開催 ・雪割草等山野草の保護活動及び雪割草見学ガイドの開催 ・村岡城址・里山歩きマップの印刷			
本 年 度 の 事 業ス ケ ジュー ル	26年 4月~11月 村岡城址遊歩道及び妙法寺駅周辺の管理と整備(看板修繕、草刈、花植え等) 4月20日 しだれ桜と信昭公祭と歴史散策 6月中旬 村岡城址・里山歩きマップ印刷 6月下旬 ホタル鑑賞ガイド 11月 三郎公祭(方丈山もみじの祭典)と歴史散策 27年 3月中旬 山野草保護活動及び雪割草ガイド			
地域活性化の波及性	・イベントの開催により、郷土の歴史文化を再認識し、新たな保内郷の活性化が図られる。 ・早春の雪割草・カタクリ・しだれ桜、初夏の紫陽花・蓮・ホタル、秋の紅葉と1年を通し、保内郷の里山の自然・草花、郷土の歴史文化を体感でき、ツアー・ガイドすることによる内外へのPRが図れる。 ・山野草(雪割草・カタクリ等)ガイドで自然を楽しみながら、多くの方に山野草の保護を呼びかけることにより里山の美しさが保たれる。			

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

10.00							
	項	目	予算額		内	訳	
地域コミ	ュニティ事業	美補助金(F)	400, 000				
自己資金			100, 000				
			n"				
11-1	寄附金	金					
特	参加	費		§			
財源	その作	也収入金		×			
	小	計(D)					
そ の 他							-
1	合 計		500, 000				

支出の部

(単位:円)

又问	文出の部						
	項	目	予算額	内訳			
	報償費	Ì	160, 00	D 出演者謝礼	160,000		
補助対	需用費	į	250, 000	チラシ印刷 食材(おもてなし昼食) 消耗品(プラ容器、割り箸等) 燃料費(草刈用燃料) 里山歩きマップ印刷	80,000 70,000 20,000 5,000 75,000		
象	役務費	į	30, 00	D 広告料(雪割草鑑賞)	30,000		
経費	使用料	ŀ	50, 00	か 妙法寺本堂、庫裡、トイレ使用料	50,000		
	原材料	費	10, 000	D 看板修繕材料費	10,000		
	小	計(C)	500, 000				
補		/ - C					
助対			16				
象					-		
外							
経	- 15	=L (D)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
費	小	計(B)					
	合	計(A)	500, 000		- 2		

[※] 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。